

質問

山口県の人口減少対策は、どれもあまりインパクトがありません。若者や女性をターゲットにして積極的な財政支援も含めて他県に例を見ない

背景や問題点

昨年の山口県の出生数は初めて7千人を下回り、人口も1年間で1万7千人減少するという危機的状況にあり、人口減少対策を質しました。

一般会計予算



質問

外国人材の受入れのためのサポートデスクがバトナ

答弁

若者の県内への定着を進めるために、住宅ローンの利子のうち、月額1万円の最大10年間補助する制度を創設し、初任給の引上げを行う中小企業に対して最大100万円を支給する事業も行なっています。

ような政策を行うべきです。

2月定例会（2月25日～3月14日）では、令和7年度一般会計予算、一般職員や学校職員の給与条例の改正など75議案が可決されました。

私の一般質問では、予算、政治とカネ、基地問題、PFAS、中間貯蔵施設や医療問題を取りあげましたので、主なやりとりをご紹介します。

詳細は井原すがこのホームページとブログでご覧下さい。

答弁

県内の外国人労働者数は、昨年時点で1万2700人余りと増加傾向にあります。外国人労働者の孤立防止のために、地域行事への参加経費や日本人社員の外国語の学習経費を支援しています。また、生活に関する問題については「やまぐち外国人総合相談センター」で相談を受け付けています。

県内の外国人労働者数は、昨年時点で1万2700人余りと増加傾向にあります。外国人労働者の孤立防止のために、地域行事への参加経費や日本人社員の外国語の学習経費を支援しています。また、生活に関する問題については「やまぐち外国人総合相談センター」で相談を受け付けています。



第22回

すがこと話そう！

日時 2025年5月10日（土）

場所 岩国市民文化会館 第2研修室

午前10時から12時

広中英明市議参加



のコメント

宮崎県都市では家族500万円の移住応援金があり、1年間で3500人もの移住者がありました。こうした事例を参考にして、県政にも思い切った発想の転換が必要です。

オスプレイの危険性

背景や問題点
一昨年の屋久島沖の墜落事故に続き、昨年11月にもアメリカで墜落寸前の事故を起したオスプレイの安全性について質問しました。

質問

今回の事故を受け、昨年12月、米海軍司令部は「飛行時間が一定時間未満の機体には追加の安全対策を講じ、一定時間以上の機体は運用再開を認める」としました。一定の飛行時間や追加の安全対策とは何ですか。岩国のオスプレイはこの基準に該当するのですか。

答弁

「国からは一定の飛行時間及び追加措置の内容や岩国に配備されているオスプレイがこの基準に該当するかどうかについて、米側より運用保全上の理由から公表できない」との説明を受けています。



のコメント

米軍によれば、飛行時間が少ない新しいエンジンが危険、初めから欠陥製品だということになり、説明しきれない加減なら、直ちに飛行停止を求めるべきです。

地域医療

背景や問題点

4月から錦中央病院が病床数19の診療所になり、夜間の救急受入れも中止され住民の不安も高まっていますので、医師の確保対策について質問しました。

質問

錦中央病院の機能縮小の原因は医師不足にあると思いますし、岩国圏域では産婦人科医も減少しています。どのような医師確保対策を行っているのですか。

答弁

修学資金の貸付けなどにより、近年若手医師数は減少から増加に転じています。また、資金を受けた医師や、医科大学で養成した医師は、市町からの要請を踏まえ、へき地の公的医療機関に配置しています。



のコメント

医師が都会に流れる傾向が続けば、地域の医療崩壊を招きかねません。地域生活環境の抜本的改善を行い、行政の責任を必要とする医師を確保すべきです。

TOPIC

未亡人製造機

オスプレイの安全性について本会議で質問しましたが、岩国駐在のある記者が、市長に同行したけれど、乗ったオスプレイはピカピカだったので、安全だと思ったけど本当は新しい機種は危なかったんですね・・・と言っていました。

Widow Maker（未亡人製造機）とアメリカで揶揄されるように、欠陥製品とまで言われるオスプレイが、安全性が担保されないまま岩国の空を飛び回っているのかと思うと、とても不安です。

井原すがこ後援会事務所

郵便 740-0017
住所 岩国市今津町
4-11-20
コーポ知本 1階
電話 0827-21-9808

お気軽にお立ち寄り下さい

傍聴席



若者が関心を持てる
県政に！

遅い春を感じながら、山口へ向かいました。受付で県議会のパンフレットを受け取り各会派の質問事項を見ると、上関の間貯蔵施設については3名が質問されていました。自民党は一人の質問者もいませんでしたが、この件については無関心なのか不思議でした。

また、錦町の病院や高森みどり中学校の廃止の件では、住民

や在校生の声が十分に反映されず、一方的に行政側の判断で決定されているように思いました。県のスローガンである安心と安全を守るとは何でしょう。

今年高校を卒業した生徒に「県議会を傍聴に行かない？」と誘ってみたのですが、あまり関心がないようで、身近な高森みどり中学校の件も影響があるかとも思いました。若い人たちがもっと関心をもてるような県政（政治）であって欲しいと思います。（60代女性、岩国市）